

## 住宅業界におけるSDGsの取組み

川久保 俊 法政大学デザイン工学部建築学科准教授

1. 持続可能な開発目標(SDGs)とは

2. なぜSDGsに取り組むべきなのか

3. いかにしてSDGsに取り組むか

4. SDGsの取組み事例

## 持続可能な開発(Sustainable Development)とは

Sustainable Development に関する議論 (Brundland Commission, 1987)

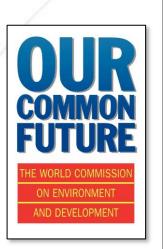
Sustainable development refers to development that meets the needs of the present without compromising the ability of future generations to meet their own needs.

### 和訳:

## 将来世代のニーズを損なうことなく、現世代のニーズを満たす開発

- ◇ 世代間倫理の重要性が強調されている
- ☆ 持続可能性を議論する上で、 現世代のことだけを考えるのではなく、 将来世代への配慮が欠かせないことを強調





## 持続可能な開発を巡る近年のグローバルな動向

## 1. 持続可能な開発のための2030アジェンダ

(通称: 2030アジェンダ)(2015.9)



- ・国連で採択された2030年までの世界全体の開発計画
- 2030アジェンダの中核をなすのが持続可能な開発目標(SDGs)

## 2. パリ協定 (2015,12)



- 気候変動枠組条約締約国会議で採択された国際協定
- ・京都議定書以来18年ぶりの気候変動に関する国際的な枠組み

◇ 2015年以降、持続可能な開発に向けた世界の動きが加速

**Hosei University** Shun KAWAKUBO

## 持続可能な開発のための2030アジェンダとは(1)

United Nations

A/RES/70/1



#### **General Assembly**

Distr.: General 21 October 2015

Seventieth session

Agenda items 15 and 116

#### Resolution adopted by the General Assembly on 25 September 2015

[without reference to a Main Committee (A/70/L.1)]

#### 70/1. Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

The General Assembly

Adopts the following outcome document of the United Nations summit for the adoption of the post-2015 development agenda:

#### Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

#### Preamble

This Agenda is a plan of action for people, planet and prosperity. It also seeks to strengthen universal peace in larger freedom. We recognize that eradicating poverty in all its forms and dimensions, including extreme poverty, is the greatest global challenge and an indispensable requirement for sustainable development.

All countries and all stakeholders, acting in collaborative partnership, will implement this plan. We are resolved to free the human race from the tyranny of poverty and want and to heal and secure our planet. We are determined to take the bold and transformative steps which are urgently needed to shift the world on to a sustainable and resilient path. As we embark on this collective journey, we pledge that no one will be left behind.

The 17 Sustainable Development Goals and 169 targets which we are announcing today demonstrate the scale and ambition of this new universal Agenda. They seek to build on the Millennium Development Goals and complete what they did not achieve. They seek to realize the human rights of all and to achieve gender equality and the empowerment of all women and girls. They are integrated and indivisible and balance the three dimensions of sustainable development: the economic, social and environmental.

The Goals and targets will stimulate action over the next 15 years in areas of critical importance for humanity and the planet.







## **A**/RES/70/1

### 第70回 国連総会 決議 文書第1号

A/-	総会
-/RES/-	決議
-/70/-	第70回
<b>-/1</b>	文書第1号

## Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

≪和訳≫

我々の世界を変革する:

持続可能な開発のための 2030 アジェンダ

## 持続可能な開発のための2030アジェンダとは(2)

- 人々の、人々による、人々のためのアジェンダ
   (It is an Agenda of the people, by the people and for the people)
- 誰一人取り残さない(No one (will be) left behind)
- 2030年までに完全に実施する

= SDGs

- ・先進国にも途上国にも適用されるユニバーサルなゴールとターゲット
- 人権の尊重(世界人権宣言、その他国際文書・国際法の重要性を確認)
- グローバル・パートナーシップの重要性の確認
- ゴール・ターゲットの進捗状況に関するフォローアップとレビューの推奨
- 21世紀における人間と地球の憲章
  - …人類と地球の未来は我々の手に中にある
  - …未来の世代に受け渡すたいまつは今日の若い世代の手の中に

## 持続可能な開発目標(SDGs)

持続可能な世界の実現に向けた開発目標(目標年:2030年) 骨格をなすのがSDGs(Sustainable Development Goals)





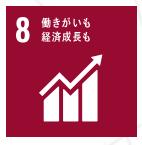
































"Sustainable Development"に関連して世界全体で 目指すべきゴール、取り組むべきターゲットが整理して示された!

## 持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴールの詳細



あらゆる場所のあらゆる 形態の貧困を終わらせる



飢餓を終わらせ、食料安全保障 及び栄養改善を実現し、 持続可能な農業を促進する



あらゆる年齢の全ての人々の 健康的な生活を確保し、 福祉を促進する



全ての人に包摂的かつ公正な 質の高い教育を確保し、 生涯学習の機会を促進する



ジェンダー平等を達成し、 全ての女性及び 女児の能力強化を行う



全ての人々の水と衛生の 利用可能性と持続可能な 管理を確保する



全ての人々の、安価かつ信頼 できる持続可能な近代的 エネルギーへのアクセスを確保する



包摂的かつ持続可能な経済成長 及び全ての人々の完全かつ 生産的な雇用と働きがいのある 人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を 促進する



強靱(レジリエント)なインフラ構築、 包摂的かつ持続可能な産業化の 促進及びイノベーションの推進を 図る



各国内及び各国間の不平等を 是正する



包摂的で安全かつ強靱 (レジリエント)で持続可能な都市 及び人間居住を実現する



持続可能な生産消費形態を 確保する



気候変動及びその影響を 軽減するための緊急対策を講じる



持続可能な開発のために海洋・ 海洋資源を保全し、 持続可能な形で利用する



陸域生態系の保護、回復、 持続可能な利用の推進、 持続可能な森林の経営、 砂漠化への対処、並びに土地の 劣化の阻止・回復及び 生物多様性の損失を阻止する



持続可能な開発のための平和で 包摂的な社会を促進し、全ての 人々に司法へのアクセスを提供し、 あらゆるレベルにおいて効果的で 説明責任のある包摂的な制度を 構築する



持続可能な開発のための 実施手段を強化し、 グローバル・パートナーシップを 活性化する



持続可能な開発目標(SDGs)

## 全世界が合意して誕生した2030アジェンダとSDGs

## 2030年に向けた世界の目標(誰一人取り残さない社会の実現)

17個のゴール

169個のターゲット















世界の共通言語 羅針盤的な役割



















(国•自治体等)





(小中高大等)



民

(市民·NPO等)

## MDGsの後継として位置付けられているSDGs

 2000年に採択された国際ミレニアム宣言に基づき 設定されたのがMDGs(Millennium Development Goals)



①極度の貧困と飢餓の撲滅



②普遍的な初等教育の達成



③ジェンダーの平等の推進と 女性の地位向上



④幼児死亡率の引き下げ



⑤妊産婦の健康状態の改善



⑥HIV/エイズ、マラリア、 その他の疫病の蔓延防止



⑦環境の持続可能性の確保



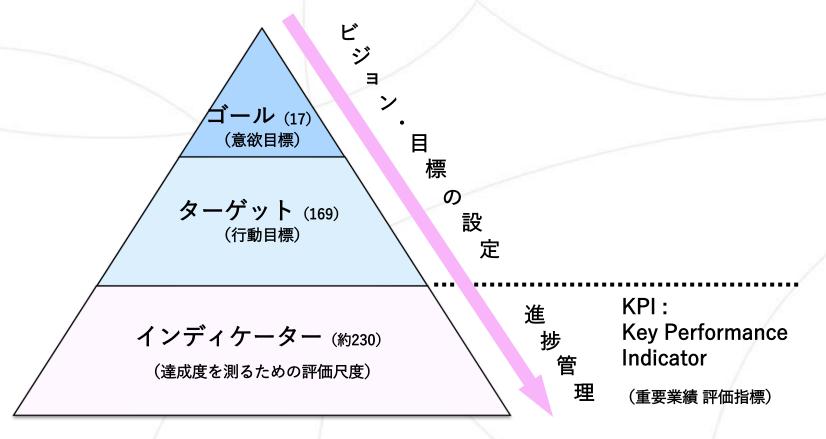
8開発のためのグローバル・ パートナーシップの構築

- 途上国支援(G to G)の性質が強かったMDGs
  - ◇ 求められる開発途上国、先進国の双方による努力
  - ◇ 民間セクターを含む幅広い参加の下での持続可能な開発
  - ◇ 標語:誰も取り残さない (no one left behind)

参考文献: 国連広報センター https://www.unic.or.jp/activities/economic\_social\_development/sustainable\_development/2030agenda/global\_action/mdgs/

## SDGsの枠組み:ゴール、ターゲット、インディケーターの三層構造

ゴール(17)、ターゲット(169)、インディケーター(指標)(約230) による三層構造



ゴール、ターゲットの達成度をインディケーター(指標)で評価

## SDGsの枠組み:ゴール11の事例

### ゴール 11 ―

包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する



### ターゲット 11.1

2030年までに、全ての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する

## グローバル指標 11.1.1 ―

スラム、インフォーマルな居住地及び不適切な住宅に 居住する都市人口の割合

ゴール、ターゲットの進捗管理を行うための指標が提案されている

## SDGsの枠組み:ゴール12の事例

### ゴール 12 \_

持続可能な生産消費形態を確保する



### ターゲット 12.4 \_

2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

## グローバル指標 12.4.1

有害廃棄物や他の化学物質に関する国際多国間環境協定で求められる情報の提供(報告)の義務を果たしている締約国の数

ゴール、ターゲットの進捗管理を行うための指標が提案されている それぞれの事情に合わせて適切なターゲット・指標の設定が必要

## 2030アジェンダとSDGsが重要視しているポイント①

## キーワードとしての5つの"P"

- ① 人間 (People)
- ② 地球 (Planet)
- ③ 繁栄 (Prosperity)
- **④** 平和
  - (Peace)
- ⑤ パートナーシップ (Partnership)



出典: 国連広報センター http://www.unic.or.jp/activities/economic\_social\_development/sustainable\_development/2030agenda/

## 2030アジェンダとSDGsが重要視しているポイント②

## 経済、社会、環境の統合(種々の課題の同時解決を目指して)

トリプルボトムラインに基づく持続可能な開発の推進



出典: ストックホルムレジリエンスセンターが提唱した図より引用、一部加筆修正

## 2030アジェンダとSDGsが重要視しているポイント③

## 柔軟な実施体制、取組方法、評価システム

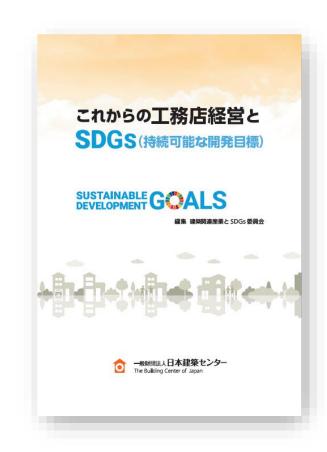
- 持続可能な開発のための2030アジェンダの中では、SDGsの達成に向けた具体的な取組手順は規定されていない
- ・各主体は独自の得意とする方法でSDGsに取り組むことが可能 (各主体の自主性を尊重するSDGsの大きな特徴の一つ)
- ・達成状況を各国が国連に報告(於:国連ハイレベル政治フォーラム)
- ・SDGs自体は単に目標を並べたもので達成に向けた シナリオが示されているわけではない
- ◇ 各主体はSDGsの各ゴール、ターゲットを組み合わせて 独自のSDGs取り組みシナリオを構築する必要がある

写真出典: 外務省HP 持続可能な開発のための2030アジェンダ https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/gic/page1\_000359.html

# これからの工務店経営と SDGs (持続可能な開発目標)

建築関連産業とSDGs委員会 編集 日本建築センター 発行

村上周三、磯部孝行、小山貴史、川久保俊、新谷圭右、宿本尚吾



## 1章 工務店はなぜSDGsに取り組むべきなのか

1章では、工務店がSDGs に取り組む背景とそのメリットについて解説する。

工務店におけるSDGs導入の背景 ~押し寄せる経営環境の変化~ 1-1

> 性能向上 (省エネ、健康、耐震等)

職人不足

工務店を取り巻く 経営環境の変化

新築戸建 市場の縮小

事業承継

資金調達



丁務店が中長期的に 目指すべき方向性 (経営課題解決のエンジン) SUSTAINABLE GALS
DEVELOPMENT GALS



器 機会がいる 経済成長も

111

















ÑŧŧŧŤŧŤ







**♦** 





1-2 SDGs導入の様々なメリット ~丁務店・施主・社会にもたらされるメリット~

#### 工務店にとってのメリット ~SDGs導入で経営の持続性を高める~

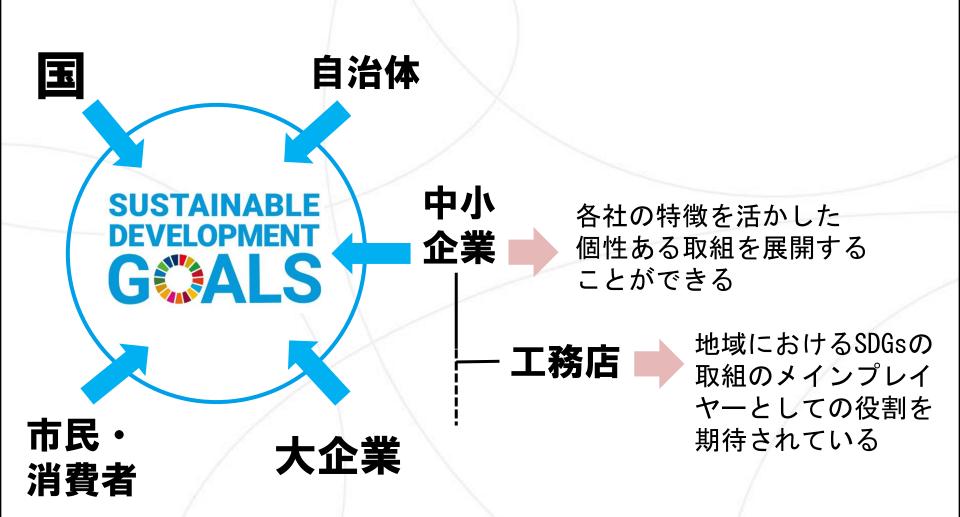
- 人材の採用と育成(働きがい、女性活躍等)
- 事業機会の拡大と事業リスクの緩和 (省エネ住宅、合法伐採木材、新しい顧客層の拡大、 金融機関による支援等)
- 事業承継の円滑化

- 施主にとってのメリット ~世代を超えて住み継がれる住宅とは~
- 住まい手への提供価値 (高断熱・高気密化による健康増進、 高齢者向けの福祉、レジリエンス等)
- 中長期的な資産価値の形成 (ストック活用型社会への転換、長期優良住宅)

1-3 **これからの工務店に期待される役割** ~次世代により良い社会資産を引き継ぐために~

**Hosei University** Shun KAWAKUBO

## 1-1. 工務店に押し寄せる経営環境の変化



## 1-1-2. 工務店経営に導入されるSDGs

工務店経営にとってSDGsの役割とは

- 長期的な視点で経営の舵取りを行う 「コンパス」の役割
- ・持続的な経営を推進するための 「エンジン」の役割



## 1-1-2. 工務店経営に導入されるSDGs



**Hosei University 21** 

## 1-2. SDGs導入の様々なメリット

三方よしのSDGs

## 工務店

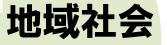
売り手よし



13 REBRIE 14 ROBERTS 15 ROBERTS 16 TREBETS 17 SHORESTON 1

## 施主





世間よし

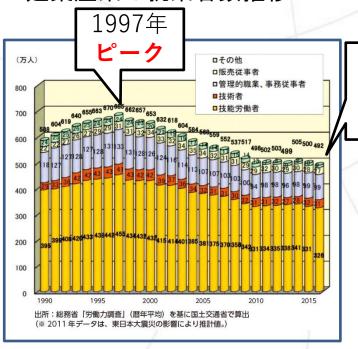
◇ 近江商人の三方よし。

SDGsは、未来を見据えた「三方よし」とも言える



## 1) 人材の採用と育成 (働きがいをつくるSDGs)

■建築産業の就業者数推移



減少の大きな要因は、

建築産業における労働条件の未整備 (特に大工等の技能者の減少が顕著)

2016年

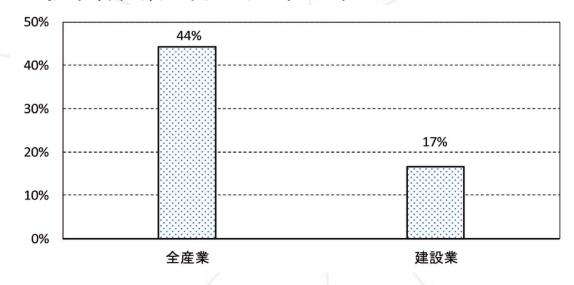
(ピーク比)

27%減



# 1)人材の採用と育成 (工務店における女性活躍)

#### ■就業者総数に占める女性比率



#### ■建築業界の現状

就業者総数に占める女性の割合が他業種に比べて低い



暮らしを提案する住宅に おいて、女性目線の商品 開発やサービスが重要

⇒ 出産や育児、介護等が働き続けることの障害にならないように 「育児・介護休業制度」や「時短勤務制度」の積極的活用について トップ自ら考え方を社内に示すことが大切





2) 事業機会の拡大と事業リスクの軽減 〈省エネ住宅・建築物へのニーズ拡大〉



ZEH - LCCM住宅等の普及

省エネ基準の説明義務化

住宅トップランナー制度

□ 国の省エネ施策や消費者ニーズが工務店にとってビジネスチャンスに





## 2) 事業機会の拡大と事業リスクの軽減 〈合法伐採木材の利用促進とリスクについて〉

合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律 (通称 クリーンウッド法) 2016年施行

木材関連事業者の登録制度を設けている (工務店を含む)







- ▶工務店に求められること
- ・建築に使用される木材の合法性について確認に努めること
- ・登録木材関連事業者になることによって、 クリーンウッド法への適正な対応を対外的 に証することができる



## 2) 事業機会の拡大と事業リスクの軽減 〈新しい顧客層の拡大〉

### 地方自治体

SDGs宣言を行う地方自治体が急増。 こうした自治体のパートナーとして 地域の中小企業の存在感が高まっている

### 学校教育

2017年、文部科学省が発表した小学校 及び中学校の新学習指導要領において、 「持続可能な社会づくり」が盛り込まれた

SDGsは地域社会に広く浸透しつつあり、確実に定着していくものと考えられる

- SDGsの必要性を認識している消費者の増加
- ・将来はSDGsを学んでいる子どもたちが、住宅購入者に

◇ SDGsへの取組は、地域に根差す企業としてのブランドイメージを高めるとともに地域の消費者の共感を生み、顧客層の拡大に直結する



## 2) 事業機会の拡大と事業リスクの軽減 〈金融機関によるSDGsに取り組む企業への支援〉

#### 金融機関

▶SDGsに取り組む金融機関が急増 SDGsに取り組む企業は、長期的かつ 安定的な成長が期待される企業という 評価がなされ、金融機関からの支援を 得やすくなる時代が始まっている

## 例

- ・中小企業等がSDGs経営計画を 策定することを銀行が支援
- ・SDGs経営計画を策定した 企業に対して、融資条件の優遇

◇ SDGsを無視した経営を行うリスク 金融機関からの積極的な支援を受けにくくなる危険性を抱えることになる

3) SDGsは事業承継のツール





▶これまでの工務店

#### 親子間で承継が一般的

会社の機能の多くが、経営者個人に依存 事業承継が属人的になりがち ▶SDGsに取り組む工務店

### SDGsの経営計画を承継

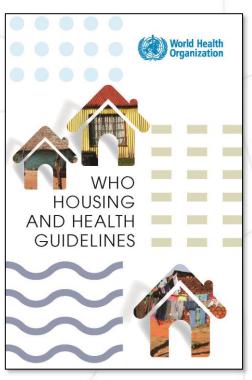
企業のビジョンを実現するための経営計画を 立案し、後継者(次の世代)に引き継ぐ

⇒ SDGsが持つ広い社会性は後継者(次の世代)にとってやりがいと 共感を持って受け入れられる

### 1-2-2. 施主にとってのメリット



# 1) 住まい手への提供価値 〈健康と福祉〉



▶住宅と健康の関係性について 「住宅と健康に関するガイドライン」23 WHO(世界保健機関)発表(2018年11月)

(冒頭)

「住宅環境の改善は命を救い、病気を減らし、 生活の質を高め、貧困を減らし、気候変動の 影響を和らげ、SDGsの達成に貢献する」



施主が自宅をチェックするためのツール

CASBEE-健康チェックリスト

CASBEE-高齢期住まいチェックリスト

## 1-2-2. 施主にとってのメリット

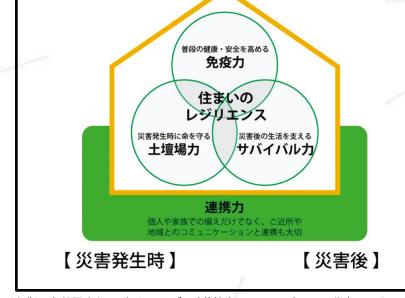


# 1) 住まい手への提供価値 〈レジリエンス向上〉

最近の大災害時に ZEH・LCCM住宅等のレジリエンス性が 評価されている

高い断熱性能と太陽光発電は大災害時の 防災・減災に有効

首都直下地震や南海トラフ地震、 大型台風等による大災害への備えとなる



【平常時】

(出典)一般社団法人 日本サステナブル建築協会、CASBEE レジリエンス住宅チェックリスト チェックリストの構成



施主が自宅をチェックするためのツール

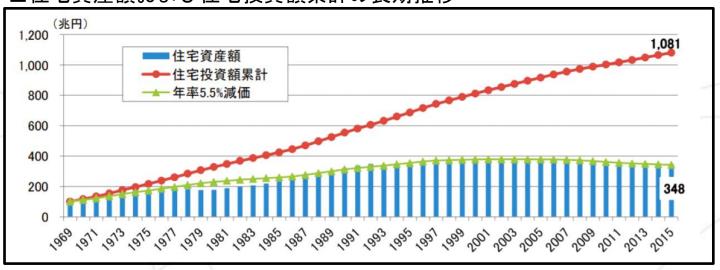
CASBEE-レジリエンス住宅チェックリスト

## 1-2-2. 施主にとってのメリット



### 2) 中長期的な資産価値の形成

■住宅資産額および住宅投資額累計の長期推移



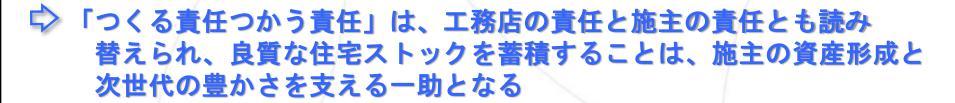
住宅が国民の 資産になっていない



良質な住宅ストックを 蓄積することが必要



長期優良住宅の 普及がその第一歩



## 1-3. これからの工務店に期待される役割



住宅は数十年~百年余にも 渡って将来の子ども世代・ 孫世代に住み継がれていく

住まいづくりも工務店経営も 長期的な視点が必要



SDGsへの取り組みが有効

施主の 次の住まい手 将来の 地域社会

## 2章 いかにしてSDGsに取り組むか

2章では、工務店がSDGsに取り組むための方法論を解説する。 (取り組む方法論がルール化されているわけではないので、ここで紹介するのは一例である)

2-1 ステップ1. SDGsの理解の浸透 2-2 ステップ2. 過去の取組の振り返りと経営課題の洗い出し(後づけマッピング) (イメージ) **&** \_\/**\** ₫ Mi CO İ÷†÷İ • **(\$)** ステップ3. 経営ビジョンと優先的取組事項の設定(先づけマッピング) 2-3 (イメージ) CO \* 大 小 優先順位 ステップ4. 経営計画の策定と実行 2-4 ステップ5. フォローアップと情報発信 2-5

### 2-1. ステップ1:SDGsの理解の浸透

#### 入口付近:ゴール1-17

自社がSDGsに取り組んでいることを社内の目につくところに 掲示することによる社員全員の取組意識の向上



#### 給湯室等:ゴール2、ゴール3など

食べ残し防止によるフードロスの減少や健康に配慮した 栄養価の高いバランスがとれた食事の重要性の啓発





#### 階段付近:ゴール3、ゴール7など

エレベーターを利用しないで階段を上り下りすることによる 健康の維持増進とエネルギー消費抑制効果の紹介





#### トイレ:ゴール6、ゴール15など

節水の徹底による上下水道消費の抑制やトイレットペーパーの 過剰消費の防止による紙資源保護の重要性の啓発





#### 会議室:ゴール9、ゴール17など

他部署、他社等の関係者と意見交換、議論することによる 新しいアイディアの創造とパートナーシップ醸成の推奨

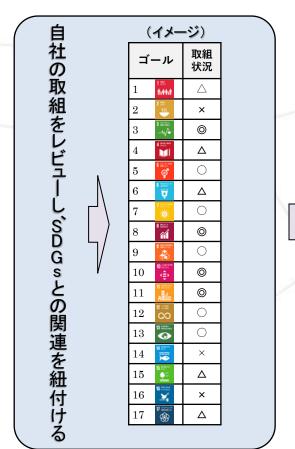


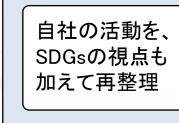


## ◇ 例えば、社内各所へのSDGs啓発資料の掲示を通してSDGsの理解を浸透

## 2-2. ステップ2 (後づけマッピング) ~2-3. ステップ3 (先づけマッピング)

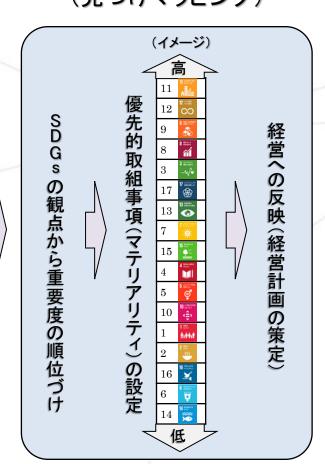
<u>これまでの取組を</u> SDGsに関連づける (後づけマッピング)





目指すべき ビジョン、 目標の展望

### <u>将来の取組をSDGsの</u> <u>観点から優先順位付け</u> (先づけマッピング)



◇ 後づけマッピングから先づけマッピングへつなげていくことが重要

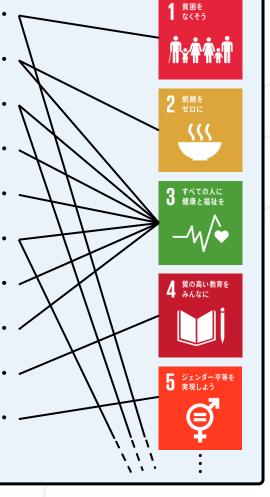
### 2-2. ステップ2: 過去の取組の振り返りと経営課題の洗い出し

### (後づけマッピング)

#### 自社の過去の取組の一覧

- ・住宅建設にかかる資金計画やライフプランの提案・・
- ・将来の農地化等を見据えた建物解体時の土壌改善・
- ・高性能な断熱材の利用によるあたたかい住宅の提供・・
- ・調湿建材の使用による適正な室内空気湿度の維持・・
- ・揮発性有機化合物を放出しない建材の不使用・・・
- ・居住者の概日リズムを調整する自然採光の工夫・・・
- ・良好な空気質の維持を目的とした換気経路の工夫・
- ・家庭内事故の発生を防ぐバリアフリー計画・・・・・
- ・子供が集中できる学習環境の整備・・・・・・・・
- ・男女共に使いやすいキッチン周りの設計・・・・

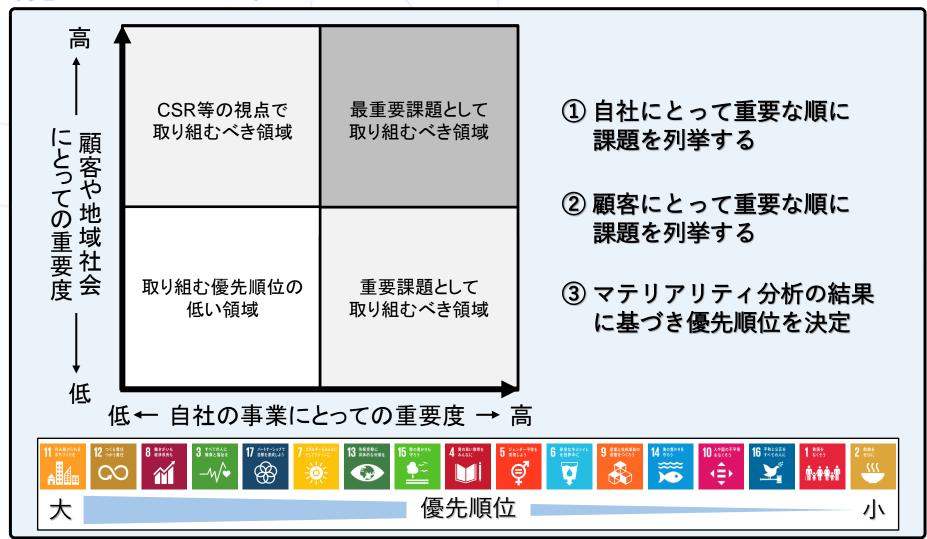
:



➡ SDGsに紐づけて自社の取組を整理することで経営課題の洗い出しが可能

### 2-3. ステップ3:経営ビジョンと優先的取組事項の設定

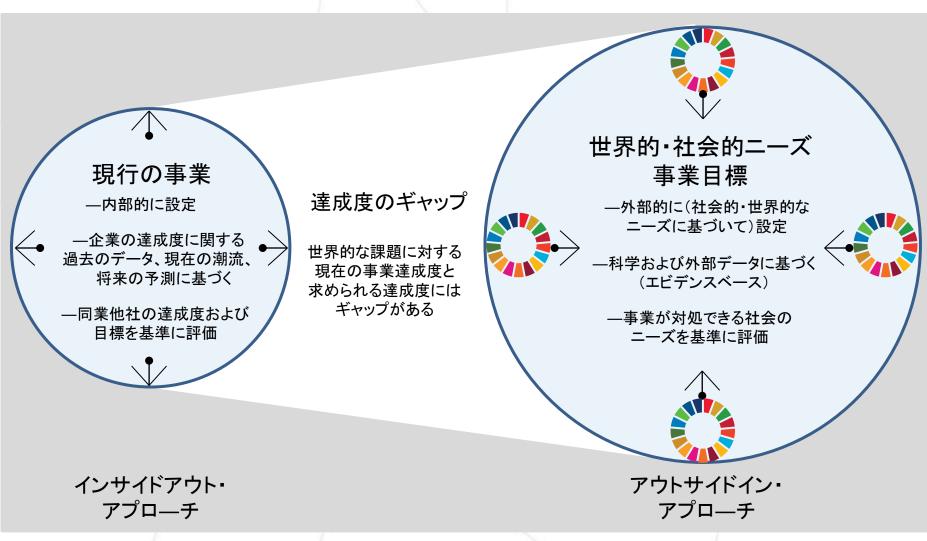
### (先づけマッピング)



◇ 自社や顧客、地域社会にとって優先順位の高い取り組み事項の特定が重要

### 2-3. ステップ3:経営ビジョンと優先的取組事項の設定

### (先づけマッピング)

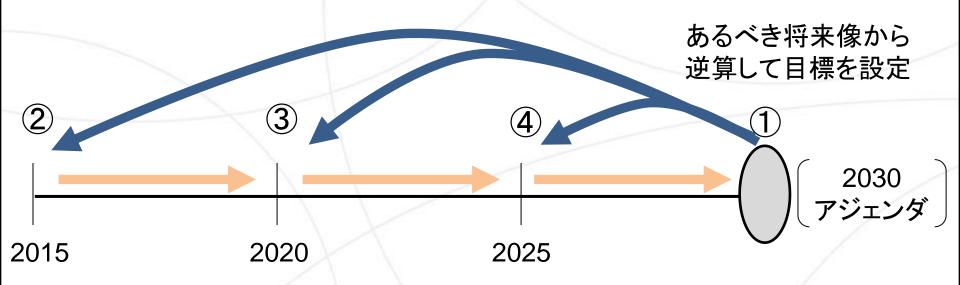


○「アウトサイドイン・アプローチ」に基づく事業目標の設定がカギ

### 2-4. ステップ4: 経営計画の策定と実行

### バックキャスティング・アプローチ

(目標年を2030年とした場合のイメージ)



- バックキャスティング・アプローチの特徴
  - ・あるべき将来像から逆算して目標を設定
  - ・長期的視点から計画を具体化

### □ バックキャスティングアプローチに基づく経営計画の策定と実行が重要

## 2-5. ステップ5: フォローアップと情報発信

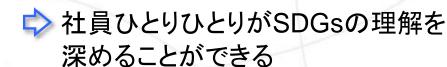
ゴール	KPI(重要業績評価指標)の事例		
<b>3</b> すべての人に 健康と福祉を ────────	・省エネ基準(断熱基準)を上回る住宅の施工割合 [%] ・ホルムアルデヒドの発散が少ない建材(F☆☆☆☆等級)の使用割合 [%]		
7 *************************************	・建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)の表示割合 [%] ・新築住宅に占めるゼロエネルギーハウス(ZEH)の割合 [%]		
8 機会がいも 経済成長も	・社員の有給休暇取得率 [%] ・社員の一ヶ月当たりの平均残業時間 [時間/月]		
11 住み続けられる まちつくりを 12 つくる責任 つかう責任	・長期優良住宅の認定取得率 [%] ・耐震等級3の取得率 [%] ・新築住宅建設時に利用するリサイクル建材の割合 [%] ・新築住宅に占めるライフサイクルカーボンマイナス住宅(LCCM)の割合 [%]		
15 降の費かさも 中方う	・合法木材の使用割合[%] ・森林認証材(FSC、PEFC、SGEC等)の使用割合[%]		

### □ KPIを用いた取組成果の明確化や成功事例の発信が求められる

### コラム: ステップ1 (SDGsの理解の浸透) の事例

### 社内勉強会の事例(エコワークス株式会社)

有識者を招いたSDGsの勉強会を全社員 向けに開催





有識者を招いたSDGsの勉強会

#### 情報共有ツールを利用したSDGsに関する取組の共有事例(健康住宅株式会社)

情報共有ツールを利用して自社のSDGsの 取組をまとめた記事を配信

⇒ 自社の取組事例を社内外で共有

今回は城南区の**S保育園の夏祭りのバザー品**として、カーテンの端切れと共にプレゼントしました。 健康住宅のSDGsの実践活動が、木の肌触りを子供達に伝える事にもつながります。 小さな一歩ですが、大きな一歩になるように今後も継続していきます。



SDGsに関する記事配信の事例

◇日頃からSDGsに関連する情報や勉強会などの機会を社員や関係者に提供

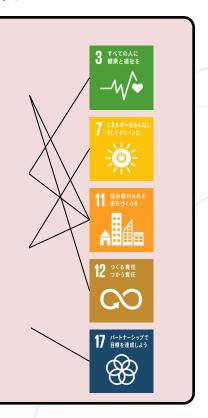
### コラム: ステップ2(過去の振り返りと経営課題の洗い出し)の事例

#### 過去の取組の振り返り事例(株式会社足立建築)

耐震性能や温熱環境性能、劣化対策性能など、 住宅の各種性能にこだわった家づくりを10年以上前から実践

### 自社の過去の取組一覧(株式会社足立建築の事例)

- ・スケルトン・インフィルを指向した躯体 の長寿命化
- ・大規模地震にも耐え得る耐震性能を有した 住宅の整備
- ・居住環境やライフサイクルコストなどを 意識した住宅の高断熱・高気密・高耐久化
- ・地域連携団体との連携による他工務店とのノウハウの共有



○ 住宅性能表示制度等に則った家づくりの実践(過去・現在の取組)は SDGsの各ゴールに紐づいている

### コラム: ステップ3(経営ビジョンと優先的取組事項の設定)の事例

#### 優先的取組事項の整理事例(SUNSHOW GROUP)

子供の出産を機に離職を考えていた女性スタッフが現れたことを契機として「女性活躍推進」を優先的取組事項として位置づけ、働き方改革を開始

- ・働きやすい職場づくりの推進

  - ◇ キッズルームの整備



子連れ出勤(カンガルー出勤)する女性社員

### コラム: ステップ4(経営計画の策定と実行)の事例

#### KPIの設定事例(SUNSHOW GROUP)

経営計画の中長期の進捗状況を計測するインディケーター(指標)と

KPI(Key Performance Indicator:重要業績評価指標)を設定

関連するSDGs のゴール	自社取組内容	自社内のインディケーター(指標)と目標
5 ジェンダー平等を 実現しよう	働きたいと思っている 女性の雇用機会を増やす	女性社員比率55%を2030年までに目指し維持する
	女性社員に対する適正な 評価を推進する	管理職比率30%を2030年までに目指し維持する
関連するSDGs のゴール	自社取組内容	自社内のインディケーター(指標)と目標
	個々の能力向上を支援 する社会環境の整備	自己成長の場の提供を促進
8 働きがいも 経済成長も		職能系資格取得の推進 ・技術士資格の取得者数を2025年までに5名を目指す ・施工管理技士の取得者数を2025年までに5名を目指す
	多様性のある働き方を	残業時間数、休日出勤数の削減
	尊重しワークライフ   バランスを推進する	多様な働き方をしている社員の人数

□ 具体的な指標により、経営計画の進捗を把握・管理を実践

### コラム:ステップ5(フォローアップと情報発信)の事例

#### フォローアップと情報発信(相羽建設株式会社)

工務店の業務内容を顧客や地域社会に理解してもらうために、ショールームの開設やイベントを通し自社の事業活動に関する情報を発信

- ・集会所を意識したショールームの開設
- ・職人の手仕事を体験できるイベント



自社ショールーム(あいばこ)でのイベント



体験型のイベントの光景

➡ 顧客に愛され、将来世代の人材開発も担う工務店に

### これからの工務店経営とSDGs (持続可能な開発目標)書誌情報

発行 (一財)日本建築センター 第1版 第1刷(2020年2月1日) 編集 建築関連産業とSDGs委員会 (委員長: 村上周三) 執筆者 村上周三、磯部孝行、小山貴史、 川久保俊、新谷圭右、宿本尚吾 サイズ・ページ数 A5·約200 ISBNコード 978-4-88910-181-2 書店、官報販売所、BCJ 販売所 本体価格 2,500円(税抜)

書籍販売サイト:

https://www.bcj.or.jp/publication/detail/122/

https://www.amazon.co.jp/dp/4889101810/

姉妹編図書:

建築産業にとってのSDGs (持続可能な開発目標) - 導入のためのガイドライン - (2010年2月発行)

https://www.bcj.or.jp/publication/detail/111/

https://www.amazon.co.jp/dp/4889101756



# ありがとうございました

#### 連絡先:

川久保俊 Shun Kawakubo, 博士(工学) 法政大学デザイン工学部建築学科 准教授 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-33 別館T3012 Website: https://kawakubo-lab.ws.hosei.ac.jp/index.html



川久保研究室では世界の共通言語 SDGsを 活かした建築・まちづりの方法を研究しています

